

南スーダン

自衛隊派遣やめて



2月17日18日に政府軍兵士らに襲撃された南スーダン
（メソラルの国連文民保護区域＝C/60ロ（国連提供））

戦争法施行の第一歩として、南スーダンPKO部隊への「駆けつけ警護」など任務拡大がすすめられています。「駆けつけ警護」とは、他国部隊やNGOが攻撃されたときに自衛隊が駆けつけて戦う、まさに「殺し殺される」軍事作戦です。

南スーダンは、停戦合意も崩れて、政府軍と反政府軍の内戦状態です。PKO5原則*が崩れている南スーダンからは、今すぐ撤退すべきです。

自衛隊員の命、帰還後のPTSDも心配されます。隊員の家族からは、「息子が戦争に巻き込まれるのはいやだ」「人の命をなんだと思っているのか」と不安と怒りの声が上がっています。

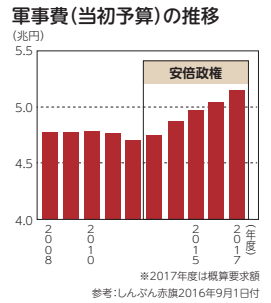
※PKO5原則…①停戦合意がある ②当事者の受け入れ合意 ③中立性 ④①②③がみたされない場合撤退が可能 ⑤最小限の武器使用⇒戦争法で大幅拡大

今さら聞けない
安保関連法=戦争法って？

①日本が攻撃されていなくても、いつでも、どこでも、アメリカなど他国の戦争に参加する。

安倍政権の暴走STOP!

- 増える軍事費過去最高…安倍政権発足から防衛予算は増え続け、5兆円を突破して史上最高額に。戦争法により、米軍と一体で戦うために、高額兵器を“爆買い”しています。
- 武器輸出解禁にともない、2015年10月、武器の研究・開発・調達・管理・輸出を一手に行う防衛装備庁が発足。予算でしめつけ、大学を兵器開発に動員する動きも活発です。
- 政府寄りの報道ばかり。マスコミが心配です。



沖縄戦の悲劇を繰り返すな！
基地も安保もない日本に

辺野古に新基地はいりません。高江・やんばるの森にヘリパッドはいりません。沖縄県民の意思は明確です。沖縄戦の悲劇を繰り返してはならない、「命こそ宝」が沖縄の心です。



ヘリパッド建設工事用の大型車両を運搬する自衛隊のCH47輸送ヘリ
2016年9月13日 沖縄県東村高江
提供：琉球新報社

- ②「後方支援」という名で、戦闘地域で「兵站活動」を行う。
※兵站…戦争遂行のための、給油、物資の補給、物資や武器の輸送、弾薬の提供、医療、建設など。「核兵器の輸送も可能」？！
- ③PKO部隊に治安維持活動や「駆けつけ警護」の任務を追加。
- ④自衛隊は他国軍の先制攻撃にも参加。武器使用を大幅に拡大。

まるごといかそう
日本国憲法

9条いかした平和外交を

第9条 戦争の放棄、
軍備及び交戦権の否認

1. 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又(または)武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

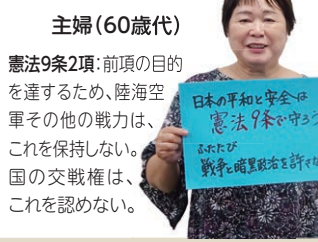
これまで、海外での武力行使を認めない憲法9条が歯止めになり、自衛隊は海外で一人の人を殺すことも殺されることもありませんでした。「戦争しない国」として得た信頼を、戦争法により崩壊させてよいのでしょうか。

戦争法成立から1年。アジア情勢をみても、戦争法が「抑止力」になるどころか、緊張を高めていることは明白です。

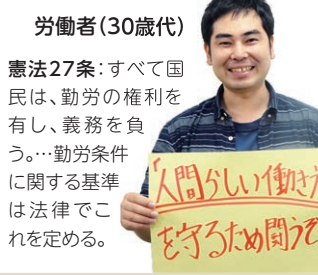


9月19日を忘れない。成立強行後一年、全国1000ヶ所で声をあげた（写真は、9月の「戦争法廃止19日行動」大阪）

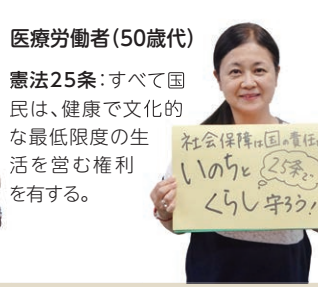
私は、
第9条が好きです
日本の平和と安全は憲法9条で守ろう
ふたたび、戦争と暗黒政治は許さない



私は
第27条が好きです
「人間らしい働き方」を守るために
たたかうぞ



私は、
第25条が好きです
社会保障は国の責任
25条で、いのちとくらしを守ろう



私は
第26条が好きです
だれもお金の心配なく学べる社会を実現しよう

